

科目名称	初等教育実習
授業コード	AI360
英語名称	Practice Teaching for Elementary Education
学期	2024年度後期
単位	4.0
担当教員	前嶋 深雪, 三宅 美千代, 園山 博, 大海 由佳, 尾野 明美, 新規未定教員, 望月 崇博, 木村 龍平, 藤井 志帆
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	この科目では、20日間の小学校教育実習を行う。大学で学修した教科・教職に関する理論や知識・技能と、実習校での教育活動（教育実践）とを相互に関係させて、実地に学ぶことを目的とする。
科目に関連する実務経験と授業への活用	教育現場での経験を持つ者が中心となって、こども学科の教員全員で初等教育実習の指導に取り組んでいる。教育実習での巡回において行われる学生への個別指導には、こうした教師の現場経験が大いに役立っている。
到達目標	児童観察を踏まえた児童理解のもとで、学級経営、生徒指導にあたり、自分の指導観を深めていくことができる。 学習指導要領に基づき、教科の単元に即した教材研究ができる。 適切な指導観を反映した学習指導案を作成し、授業実践ができる。 これらを到達目標とすることにより、学科のディプロマポリシーに掲げる「豊かな教養と倫理観を身に付けること」をはじめとして、【知識・技能】【使命感・思考力】【人間力・指導力】【創造的な保育や教育】に関する資質・能力を有する教育者となることを目指す。
計画・内容	小学校において、20日間の教育実習を行う。教育実習の内容は以下の通りである。 観察実習:児童の活動や実態、教諭の活動や指導の実態、評価・学級経営の方法、学級の実態、学校環境等を観察することにより、小学校教育への理解を深め、教育実践の参考とする。 参加実習:教諭の行う様々な教育活動に参加し、教諭としての役割を果たすために必要な態度・技能等を修得する。 授業研究と研究授業:授業観察を通じて、児童の実態の把握、教材研究の方法、指導案の作成の仕方、学習指導の形態など、授業研究に関する基本的なあり方について学び、その成果を研究授業へとつなぐことによって、実践力を高める。
授業の進め方	・実習校において、観察、授業実践、研究授業、その他の教育実践を行う。 ・大学の担当教員全員による巡回指導を行う。
能動的な学びの実施	実習校において、観察、授業実践、研究授業、その他の教育実践を行う。
授業時間外の学修	時間外の学習として、授業実習の準備、教育実習日誌への記録などを行う。
教科書・参考書	特になし。
成績評価方法と基準	実習への取り組みについての評価（40％）、実習校からの評価(60%)を基に、総合的に成績評価を行う。

課題等に対するフィードバック	教育実習における実習校からの評価について、フィードバックを行う。
オフィスアワー	CampusSquareを参照。
留意事項	・ 小学校教諭一種免許状取得のための必修科目である。 ・ 1年次より提示している「初等教育実習の履修条件」を満たした学生のみが、本科目を履修することができる。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	授業の進め方 文部科学省より示される内容に依拠して判断する。 成績評価方法と基準 実習への取り組みについて、総合的に成績評価を行う。